產

道

立・加工に至るまでの全

実は、

ゲート・バルブの

か当社の強みと自負して

させていただいたのは初 製造工場をじっくり見学

うな旧来から伝承されて を使って「ろ過」するよ 鉄の質を高めるために藁

程を担っており、これ

いるところでもございま

うに、設計から鋳造・組 なっていただきましたよ す。この埼玉製造所は、

るものと期待

モノづくりの原点

ずっと職人気質の世界で

とを第一とする職場の空

気は一貫していると思い

うなるかと思います。国 そうですので、自ずとそ

の実習生の制度に基づい

課題解決に向けて 上下水道界を取り巻く

すが、私が改めて強調間と労力を要したわけで

機、緊急遮断弁・急閉ゲー

レシプロ式汚泥かき寄せ

使命は、人々の暮らしと

震性を考慮したバルブや

いただきます。

私たちの

宮川

有難うございま

動力になるはずです。 連携への参画が大きな原

ト水道界において、使命

活躍する企業による官民 も使命感のある従業員が

います。結果として、

使命について述べさせて

心強いものがあります。 を展開されていることは を根底に据えて事業活動 民間企業の側から使命感

らも「備え」については 頻発化・激甚化の傾向か

フラインを支える製品を

それでは、ライ

製造・供給する立場での

として重視して

復旧にも大変な時

したいのは、「備え」の

に付帯するゲートやバル

そのためには、確かな品

のでなければならないと

特に自治体関係者に認識

していただきたいと思い

持つ集団があることは、

もしっかり発揮されるも のことながら、災害時で す。この使命感は、当然

く、民にも強い吏令惑を感があるのは官だけでな

民にも強い使命感を

ンを守り続けることで、 社会を支えるライフライ

雨水の貯留浸透施設

・3年という任期で受け

て、聞いて、

感じ取るこ

宮川

現場の雰囲気が

るように思います。

したが、

自分の目で見

めてとなりそうですね。 もそうしたマインドも含 彼らに対する技術の伝承

す。どうぞ宜しくお願い

き、誠に有難うございま

唯一の製造拠点でござい 当社のメーカーとしての

先程までご覧に

長岡名誉教授

こちら

こそ貴重な機会をいただ

感謝しております

重かつ手際良く次の工程 気炉からの溶けた鉄を慎 驚きがありましたし、

に運ぶ様子、あるいは鋳

場までいらしていただ

今後進むべき方向性につ は、長岡先生から当社が

いて多々ご示唆いただけ

おかれては大変ご多忙の

宮川社長長岡先生に

に努めております。本日を着実に供給できるよう

製造現場の空気 マンパワーの実像と

はいかない中で、社員一

ーションと

お客様に良質な製品

ところ、遠路、

当社の工

界へのさらなる貢献を見据える前澤

玉製造所のリノベーションと品質確保・人材育成の今を探る~

ションの方向性 製造拠点のリノベー 性と言えるでしょう。 至っています。 生にご覧いただきました を重ね、現在の体制に ように、このたび、工場

感は理想的な官民の関係

ら拡張や増築、

設備導入

改善に加え、運搬頻度の

生産動線の

本巨、

を導入して人的介在を削 高い箇所には自動搬送機

減し、 バルブ組立機能を

いた大船渡市との信頼

産量の増加に対応しなが

生産品種や生

係なく快適な作業環境を

当

です。この人材目標に

階層別研修

さら

成功だったと思っていま とからもこの取り組みは に塾生が成長しているこ ども大変でしたが、実際

宮川

当社では社会・

ただけますか?

社長の思いをお聞かせい

市場環境の変化を見据

え、当社グループの製品・

ご検討い

の在り方を変革する人材 や仕組みを創造し、既存 協働しながら新しい価値

カリキュラム作りな

業でしょう。

最後に、

今後に向けた

の点、先程、

ご紹介いた

が一番困るわけです。 何よりも「売りっ放し」

製造所は1

げた通り、従業員の方々 バワーには感心するとと 言っても良いようなマン のお仕事振り、躍動と た中では、 通り見学させていただい 施設・設備の更新 、先程も申し上 現するためのリノベ る効率的な人員配置を実 機械可動率の向上、 ションを進めています 時期を迎えたことを契機 て労働力減少に対応でき

ことにも好感を持ちま. 昨今、 ころですが、

た製造拠点のリノベー 宮川 ご指摘いただい

長岡本日、工場を 棟や主要生産設備の更新

対策が強く求められると 更新対象の工場棟では、 生産動線の整流化や 猛暑が続き熱中症 そし ります。また、脱炭素社の最大活用を図ってまい れは、下げ降ろし時に発 エネルギー回収機能、 費電力の一部を賄うとと 設備を設置し、 棟の屋根には太陽光発電 会への貢献を視野に、 生する電力を回収 が可能となり、人的資源に応じた柔軟な人員配置 工場の消 建物(工場内の管理棟) ていることも素晴ら にも細心の配慮がなされ す。こうした地味な部分 そもそも、 人と人との衝突防止



宮川氏 が、消費電力の一部を事30%を回収するものです

利用できるようにしてい

消費電力の一部を再

ます。従来からのCO。

とが理解できます。

ありがとうござ

大切にする企業であるこ

いることからも「人」を

くセンサ

まで配備して

重要の事案として取り組 内にあった3工場を統合 んでおります。ここ埼玉 986年に県 空調による温度管理を実 できるよう、 現することで、季節に関 速シャッターを配備し、 誰もが安定して作業 の再生を段階的に進めて 現した環境配慮型工場 と持続可能性の両立を実 排出量の少ない電気炉と いきたいと考えておりま こうした取り組み 生産効率の向 今後も順次実施し、 位置づけているもので、 います。ちなみに、この ノベーションの第1 一号棟のリニューアル 宮川 製造拠点の一連のリ

ね。自治体にとっては、

ビスは大切です

極めて大切であること とで、様々な工程がある も「人」が躍動するため 寧に見せていただいたこ にも必要不可欠のもので る空調による温度管理 もよく分かります。 が言われた「整流化」 ことが分かり、 長岡 クーラーに象徴され ト・バルブ工場を丁 今吗 初めて

集約することで、

生産量



す。 人材育成 で、技能を持 るところが大 のスキルに拠 スキルを旨と ですが、技能・ 界全体の課題 は官民を問わ たれている方

ので、それが

する現場です

います。当然、

になると思い とりわけ重要

ル技術を活用した課題解

培われるものと認識して りも日々の仕事を通じて

> 開発力の強化と製品化の ニーズ収集を通じ、 携強化や多角的な顧客

交流の場も大切で、 と思っています。 技術を開発するために、 を捉えた特長ある製品・ の開発強化や顧客ニーズ 実現に向けた省エネ技術

大学等の外部機関との連

の評価だけではなく、

そ

水道界へのさらなる貢献

に期待したいと思いま

する側も、技術そのもの ほしいと思います。 術・新製品にトライして

評価

を深めることができまし

今後のご活躍と上下

り方をはじめ、多々見聞

なされるべきではないか の普及も意識した評価が

す。有難うございました。

官民の

3 使 命 感 育 む 揭 企 土を 育成…宮三 惟認…長岡

興味深いですね。どのよ **長岡** ほう…。それは ションも行う考えです。 うか? うに更新されるのでしょ 鋳造部門のリノベ を目指します。 るようなリノベーション これからの品質管理と 付加価値性が発揮でき

お手本になる内容を多々

す。

『使命感に徹

お持ちですので、広く発

特に、高齢化が進む

をやり遂げようとする気 する』です。自らの任務

変革を為す』です。 です。そして、『創造と 概を持ち、実行する人材

をと

事務局を多う。当時、私

上心も含めて上下水道の

ち

自らを律する人材で

実感した若い人の高い向 らこそ、工場見学の際に

ら学び成長する意欲を持

り、

自ら考え実行し、自

に直面している現場だか

材育成の難しさ、大切さ

は『自律型』です。 つまげています。 その1つめ

キルを大切にする企業風

成という面では、会社と

います。加えて、

して3つの人材目標を掲

ます。その点、技能・ス

土は流石と言えます。

進めているところです 方について入念に検討を が、単なる更新ではなく、 現在、そのあり いましたが、「人」に関 も興味が募ります。やは 9る取り組みの方向性に 長岡 製造拠点のリノ 人材育成の方向性 ション の方向性を伺 のがあります。技能やスションの高さは心強いも とで仕事の様々な局面で キルの確保を旨とするこ こだわりもあるでしょう 中で、若い人のモチベ 信してほしいと思いま

宮川

はない、一品り、汎用品で ものを主に製 ということ 造されている られます。 りの現場ですので、そこご指摘のようにモノづく 育まれやすい職場環境が 言葉をいただき、 術者としてのプライド になると思います。先生 作用しているように感じ 社員にとっても励み それも早い段階で技 過分のお褒めの 、恐縮で では、 えたキャリア面談も実施 に 沿った形の教育プログラ も行っています。 ムを整備し、 自己申告制度を踏ま

ログラムを作ってそれぞ ていますが、それとは別 ように私自身、受け止め 質向上にも寄与している で育まれたプライドが品 に各部門でアクションプ ベイランスも受け I S O めの研修を行うととも 視しています。 核人材に対してはデジタ 相談室も設けています。 門家を招聘したキャリア 特にDX推進を牽引する 割に応じた人選を行っ こうした教育プログラム - Tリテラシー向上のた していますし、外部の専 DX推進における役 ・ダー的存在となる中 DXについても重 全社員の うなものはありますか? り実践されて来られたこ 育むのか?その秘訣のよ 特に使命感をどうやって とは素晴らしいですが、 ほしいと思っていました その3要素を身に着けて はいずれも大切なもの のでもあります。 長岡 これは中々難しいも 難しい営みをしっか 私も教育者として、 使命感は、何よ 3つの人材目標 大切だ

> ルの強化に取り組んでい 開発およびビジネスモデ なものとするための技術 価値の創出と成長を確か システムを通じた新たな

> > の方は、

全般に実績を重 確かに、自治体

ができ、

感謝申し上げま

ントを多々いただくこと

視する傾向があります

また、脱炭素社会

期を迎えている今だから

明らかに時代の転換

こそ、柔軟な視点で新技

触れたことで、

人材のあ

社の製造拠点での営みに

こちらこそ、貴

されます。 役員プレゼンを経て選抜 うえ受講希望者を募り、 が卒業しました。 を設け、昨年は第3期生未来塾」という研鑽の場 不定期ですが「マエザワ た教育ということでは、 また、少々毛色の変わっ などを実施しています。 門の事業部長クラスに就 私で、塾生は上司承認の ー期塾生は現在では各部 昨年は第3期生 ちなみに、第 塾長は いと思います。3つの要類気に拠るところが大き 日々の営みの中で実践し 素を持っている上司が います。 を根底から支え、未来社 せねばならないと思って 標を社内にもっと浸透さ 謝されるような経験が特 価、あるいは顧客から感 に大きいと感じていま ただし、この人材目 同僚からの評

ていれば自ずと身に着く もまた企業風土のなせる ように思えますし、それ すね。もう一点、ユーザー がもっとあっても良いでコミュニケーションの場 とっても心配の種で、 宮川 それは我々に います。 の接点が著しく減少して が不可欠ですし、官民の 事業体サイドからの発信 ニーズの把握のためには いることを私は心配して す

績の有無に囚われず、Bにお願いしたいのは、実 DASHPAB-Cr は、環境部門、バル有難ろございます。 に寄り添う企業を目指し を実現できるよう自治体 当社製品・システムによ 効果的な提案を強化 り持続可能な水インフラ 有する強みを活かし、 治体の課題解決に向けた (まいりますので、 メンテナンス部門を バルブ部

ossなどの状況も勘案 いただき、新製品・新シ 先生には引き続き、この

ルブの製造拠点、埼玉製造所ではリノベーションが着々と進められるなど、上下水道分野へのさらな道産業界で常に存在感を発揮してきた前澤工業。その高い技術・スキルの発露の場であるゲート・バ 製造所を訪ね、同製造所の最新動向を確認するとともに、宮川社長との対談を実施した。 **る貢献を見据えた取り組みが活発化している。 本紙では、** 上下水道施設向けのゲ ト・バルブ、さらに水処理プラント関係の製品・技術の提供など、 東京都市大学の長岡名誉教授と同社の埼玉 上下水

東京都市大学名誉教授 **丽澤工業代表取締役社長**

置

氏

・スキルに感心

考えるべきです。 されるのかは官民挙げて

そし

見据えて

上下水道界への貢献を

とともに躍進し

人間ら

は

火災現場近くの膜ろ

した考えを踏まえ、「水

出たものです。具体的に 自らが支援活動を買って れたからではなく、社員

市機能を維持したまま、

ます (笑)。

課題となっています。

都

人れてほしいと願ってい

会の礎となる存在を目指

していく考えです。こう

いかに迅速に復旧・修繕

限ったことではなく、

この課題は管路に

長岡 ここまでのお話

献できる魅力ある企業」

働させたのですが、こう 過浄水場を24時間フル稼

した活動の根底にあるの

しさをもとめ 社会に貢

を経営理念として掲げて

プ場なども、管路と同じ

水場や下水処理場、ポン

います。

は社員の使命感です。

PPPへの期待

長岡

大変心強い表明

「水とともに…」

銘を受けました。砂で型 目で見ることができて感 努力されている姿をこの 域を「人」が一人ひとり にも嬉しく思っていま 拝見できたことは個人的 枠を作ることには新鮮な いましたが、いわゆるハ メーションとは…」と仰 イテク技術が及ばない領 社長が「オー 持ちました。 を強く実感しました。 でした。そして、 が水道を支えていること 見したような現場の人々 ら若い人も含めて今日拝 従業員の方が若い印象も さに「目から鱗」の連続 いる技能にも触れて、 、暑い中、 有難うございま 頑張ってく ベテランか 全般に ない傾向にあります。 という思いが若い人の 門からの異動希望者は少 にもささるのかもしれま 宮川

しかも、

土のなせる業なのでしょ

実習生もおられると伺っ

長岡 ベトナムからの

鋳造工程で発揮される技能

て取り組んでいくべきで く更新の優先順位を定め

さらには自然災害の

お考えも伺えますか?

PPPが喧伝される中、 が何よりも良いですね。

解決のためには、

何より

自治体の人材不足がある 感の高まりの背景には、

わけですが、この課題の

が、改めて貢献に向けた ることが確認できました 内容をお持ちの企業であ 多大な貢献が期待できる

ておりますが、やはり、

リティというのは企業風

宮

氏

うか?

宮川

昔は今よりも

れていて、 造です。これには私も驚 程ですが、実は工場を見 きましたが… 持たれがちなのが鋳造工 過酷な環境という印象が (最も人気が高い います。その中でも最も した工業高校の学生 人材確保が大き 心強く思って いです。 います。 せん。製品の製造に関わ 画による説明媒体も用意 に誇れる特長と認識して る技能習得への意欲が高 はしていますが、 いことも当社の人材の他 マニュアルや動

やは

れていると思いますが、 れ異なる専門性が発揮さ

しています。

おり、現在は10名が研修 実習生が技術を習得して

ですので、長岡先生から

種の事故がいつ、何処で 大切さです。今後もこの

る「急所」の強靭化に貢

ブなど、国が新たに掲げ

献する製品を提供する体

供給することと認識して

を、責任ある姿勢で製造・ 質と信頼性を備えた製品

事象に直面しようとも、 考えています。いかなる

決して途絶えることがな

造、加工、

組立とそれぞ

人れ、これまでに8人の

宮川

せっかくの機会

長岡

ちなみに、

な課題となっている上下 り、基本はOー

だと思います。社員の皆長岡 素晴らしいこと さんのそのようなメンタ で、まずは経験したいと いう意欲を持つ社員は多 集団なのでしょうか? 各部門がスペシャリスト 宮川

ている社員もおります 経験して製造工程の全体 を俯瞰できる視野を養っ 中には複数の部門を

長岡氏

る事例となりそうです

製造所は「

目から鱗

連続……등

環境配

慮

型工場

再生…宫

水道界にとって参考にな

大半はそうです

製造現場に漂う空気は、 胸を張って「輸出」でき 4。そして、前澤工業の ||際貢献と|||えそうです

る内容を多々包含してい 長岡 これもある意味

故は、 すか?

える根源的な課題を広く とっては、まさかあれだ のは、多くの関係者に わけですが、まず言える 知らしめることになった した八潮市の道路陥没事 上下水道事業が抱 の事故は、

ではということです。そ とは思っていなかったの けの規模の陥没が起こる 確保に向けた制度整備が の向上やリダンダンシー 検調査の重要性が再確認 プされることとなり、点題が一気にクローズアッ となっていた老朽化の問 メンテナビリティ ŧį

以前から課題

をしっかり整えるべきで 同感です。

宮川

いることについて伺えま として特に重く見られて 上下水道界の現状、課題 今年1月に発生 全ての関係者が認識を共 で、国、自治体、企業の起こるのか分からない中 常に備える体制 \leq 制を整えています。

路や基幹施設もバルブで所中の急所です。幹線管 所中の急所です。 とって、バルブ、 長岡 卡 トというのは、 水道システムに 言うまでもな

あるい

携わる者として、一つひ

の使命です。例えば、大

に努めることもまた我々

当社の日常の営みにも色

この使命感は、

濃く反映していると自負

いように製品供給と開発

います。ライフラインに

急

を深く心に刻み、 基盤に直結していること とつの製品が人命や社会

安全性

な森林火災の際には、 船渡市で発生した大規模

住

製造に向けては、

協力会

しています。

プラントの

社とも連携して品質管理

には万全を期しておりま

の確保、持続可能性の追

民の方々が避難先から戻

られた時に水を供給でき

技術革新への挑戦を

ことは心強いですね。耐震化を実現されている なるべく多くのバルブを ので、その大切な製品で つながっているわけです 当社としましては、 その観点から 癶 ます。さらに、災害や緊 続けてまいりたいと思い

供給体制を築き、次世代 がら、社会の安心と安全 急時にも途絶えない安定 へ技術と知識を継承しな

転管理を当社が受注して

て信頼いただける関係性 スによって長期にわたっ 連携したアフター ジニアリングサービスと

を顧客と構築できていま

いるご縁もあって活動し

す

易水道の小規模施設の運

火用水の確保にも努めま

るように努め、さらに消

すし、子会社の前澤エン

集という観点では、最 たものですが、特に頼ま いるところです。

る一方で、日常的な官民近、官民連携が喧伝され 長岡顧客ニーズの収 報プラットホー

化に留意したいと思いま でもさらなる拡がりと深 会や会長を仰せつかって 幹事長を務める水を語る いるGKP(=下水道広 ム)など

心強いご意見

ステムの採用を積極的に いただきたいと思 は ければ幸いです。 観点からもご指導いただ めていく上での貴重なヒ 今後の企業活動を進 本日